

協議概要	
報告	(1) 京阪京都交通バスの春のダイヤ改正について (2) タクシー運賃の改定について
協議	(1) 亀岡市地域公共交通計画の策定について
報告 (1)京阪京都交通バスの春のダイヤ改正について	
報告 (2)タクシー運賃の改定について	
会 長	バスの減便やタクシーの値上げといった条件の変化によって、利用がどれだけ変わったかは、今後の政策検討における重要な情報となるので、事業者から可能な範囲でデータを提供いただき影響を把握するとともに、これを地域公共交通会議でもご紹介いただきたい。JR からバスへの接続について、JR が数分遅延した場合には、バスの発車も遅らせることはできないか。ダイヤの調整も含め、連携方法を見直していただけるとありがたい。
協議 亀岡市地域公共交通計画(案)について	
副 会 長	P. 45 に記載されている公的資金投入額や収支率の目標値について、ふるさとバス、コミュニティバス、京阪京都交通バスの平均値を維持することを目指すという理解でよいか。
事 務 局	ふるさとバス、コミュニティバス、京阪京都交通バスの平均値を指標としてその維持を目指し、それぞれの値も参考に示すことを考えている。運賃の適正化や運行経費の増減等による影響も想定されることから、公的資金投入額や収支率の変化要因を捉えられるよう、増減の内訳も示す予定である。
副 会 長	収支率を踏まえて投資の実施可否を判断していくと思うが、これが変わらないようにすることが目標でよいか。公的資金投入金額によっても変化することが想定される。また、これら3つの交通手段のバランスが変化する可能性もある。評価を平均値だけで行うことには納得を得られにくいのではないかと。
会 長	公的資金投入額や収支率といった指標は、令和4年度以降の状況変化を踏まえて、各交通手段の望ましいあり方を議論したり、今後打つべき政策を検討したりしていくためのものである。よって、その目標値もあくまで目安であり、目標値に近づけることを第一に目指すものではなく、目標値を実現できたかだけで評価を行うことも適切ではない。収支率が低下していても、利用者が減っているのか運行費用が増加しているのか等を確認し、例えば「必要としている利用者をカバーしており必要性が高いため収支率が低くても問題ない」というような判断を行っていくことが望ましい。このような旨を計画書にも追記したい。内容については、会長と事務局に一任いただきたい。
委 員 (利用者の代表)	JR 山陰本線亀岡駅以北の復便について記載いただいたことはありがたい。JR 千代川駅の東西自由通路整備は、どの程度進んでいるのか。また駅構内のエレベーターについて、馬堀駅、亀岡駅、並河駅、八木駅には整備されているが千代川駅は未整備である。足の不自由な方や車いすの方など利用したい方のために、利用者数の多寡によらず整備を進めていただきたい。
委 員 (市長が指名する職員)	JR 千代川駅の東西自由通路整備は、JR と協議しながら基本設計業務を進めている段階である。具体的な完成時期は定かではないが、引き続き実施設計を行い工事に着手していきたい。自由通路には東西両側にエレベーターを設置するが、自由通路からエレベーター等でホームへ直接下りていただくことはできない。東西通路を利用して東側または西側へ移動した上で、それぞれの改札からホームへ入場いただくこととなる。
会 長	パブリックコメントや議会では、しっかりと計画を読まれた上での様々なご意見をいただいた。具体的にご提案については、施策検討における重要なヒントとしたい。

委員 (市長が指名する職員)	P.62 の施策 4-1 に関して、計画期間中に実施することが決まっている、令和 7 年開催の「大阪・関西万博」や令和 8 年開催の「全国都市緑化フェア in 京都丹波」等の大型イベントを追記してはどうか。
会長	輸送力強化のスケジュールに組み込み、多くの方に亀岡へ来てもらえるとよいだろう。追記内容については、会長と事務局に一任いただきたい。 亀岡市地域公共交通計画について、協議が調った。今後計画の内容の実現に向けて、委員のお力添えをいただきたい。

以 上